

01 趣旨／背景

人口減少により地域経済の規模縮小など様々な課題が懸念されている中で、デジタル技術の進展は、地域課題の解決のための新たな可能性を生み出しています。

「青森市スマートシティビジョン」は、本市のデジタル技術を活用したまちづくり（以下「スマートシティ」）に関する将来像等を、市民、企業・団体などのステークホルダーと共有することで、「スマートシティ青森モデル」を構築し、市民力+民間力による「DX先進都市 青森市」の実現を目指していくため、策定するものです。

02 位置づけ

「青森市スマートシティビジョン」は、青森市総合計画基本構想の基本視点である「ICTを活用し、あらゆる人に開かれたスマートオープンシティ」の方向性を示すものであるとともに、「DX先進都市 青森市」の実現に向けた、本市のスマートシティの推進に関する分野横断の指針として位置づけられるものです。



03 基本理念

市民中心主義 スマートシティの最大の目的は市民のWell-Beingの向上であることを認識し、若者から高齢者まであらゆる世代が主役となる市民起点のまちづくりを推進します。	ビジョン・課題フォーカス デジタル技術はあくまで手段であり、地域課題の解決とビジョンを実現するために賢く（スマートに）活用します。	アジャイル型アプローチ 完璧を求めず、失敗から学ぶ姿勢で、スモールスタートとトライ＆エラーを繰り返しながら、柔軟に変化に強いアプローチを重視します。
公民連携 行政だけでなく、市民、企業・団体、高等教育機関など多様な主体が連携・協働して課題の解決策を見出します。	郷土愛 市民一人ひとりがまちづくりに関わることを通じて郷土への愛着と誇りを育みます。	つながり 新しい交流やコミュニティの形成など、市民がつながるきっかけを作ります。

青森市らしさの追求

04 将来像

📍：重点分野

まちの賑わい創出 地域交通 都市づくりと連携しながら、公共交通機関の相互連携や利便性の向上により、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの形成がされている。	人にやさしい社会 ヘルスケア 生活習慣病予防や各種健診・検診の受診など若者から高齢者までヘルスリテラシーが向上し、市民の健康寿命が延伸している。	地域基盤の強化 産業DX 地域企業のDXやスマート農業の導入などにより、地域産業の生産性の向上や新たなビジネスモデルが創出されている。
中心市街地 国内外からの観光客など交流人口の増加を通じ、更なる消費需要の獲得に向けた魅力的な拠点が形成されている。	子育て・教育 多様なニーズに応じたきめ細かな子育て環境が提供されているとともに、未来を担う人材を育成するための環境が充実している。	雪対策 地域・除雪事業者・行政が連携し、きめ細かく効果的・効率的な除雪が実施されている。
観光 地域特性を活かした通年での魅力づくりが行われ、効果的な情報発信がされるとともに、観光客の受け入れ態勢が充実している。	自治体DX 窓口業務のデジタル化やデジタルを活用した業務改革などにより、市民サービスの向上や庁内の業務改善がなされ、迅速で効率的な行政運営が実現している。	その他 あらゆる分野でデジタル技術が活用された取組が促進され、市民の利便性が向上している。

実行性の確保のために

人材育成	資金的持続性	システム基盤	データ活用
------	--------	--------	-------

05 推進体制・ロードマップ

